令和5年度 福岡県立古賀特別支援学校 学校グランドデザイン

障がい種	設置学部等					訪	寄
	幼	小	中	高	専		
知的障がい		○	○	○		○	
病弱		○	○				

学校教育目標

社会生活に必要な基本的生活習慣、基礎的・基本的な能力を育成するとともに、社会の一員として主体的に考え行動し、自立しようとする実践力を有し、健やかで心豊かな人間の育成を目指す。

・基本的生活習慣の確立　・生活に結び付いた基礎学力の向上
・生活に活用できる力の育成　・生活を豊かにする感性の育成

校訓

希望
友愛
自立

目指す子ども像

◆夢をもち、明るく生き生きと、健康な心身をはぐくみ続ける児童生徒
◆豊かな心をもち、思いやりをもって、協力しあえる児童生徒
◆学ぶ意欲に満ち、自ら進んで物事に取り組み、たくましく生きる児童生徒

目指す学校像

◆一人一人の子どもを大切にする学校
◆学びあい、高めあう学校
◆安全で安心して生活できる学校
◆家庭や地域に開かれた、信頼される学校

目指す教師像

◆ 豊かな人間性と教育愛にあふれる教師
◆ かけがえのない一人一人の命と人権を尊重できる教師
◆ 使命感と情熱に満ちた教師
◆ 探究心をもち続け、指導力のある教師

重点目標

（教職員が育ち、知的障がい・病弱教育をリードする学校）

Ⅰ　個別最適な学びの充実

○一人一人の実態把握に基づく、小中高の連続性を重視した系統的な指導の充実（教務）
○学習指導要領実施に伴うカリキュラムマネジメントの推進（教務・学部）
○社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育成する小中高一貫したキャリア教育の充実（進路・教務・学部）

Ⅱ　人材育成と専門性の向上

○本校教員育成指標に則った専門性の向上の実践（人材・研修）
○児童生徒一人一人の生徒理解に応じた、対応力の向上（児童生徒・学部）
○ＩＣＴを活用した指導の充実に向けた実践的研修の充実　（情報）
○教職員の人権感覚の醸成（研修）

Ⅲ チーム制を基盤とした組織マネジメントの活性化

○チーム会を軸とし、チーフ会・企画会、学部主事等会との連動による組織への一体感の醸成（マネジメント）
○児童生徒の支援や対応等学部やチーム間での連携（学部・マネジメント）
○外部専門家と連携した更なるチーム力の強化（人材・マネジメント）

Ⅳ 安心・安全に学ぶための環境作り

○安心して学べる教育環境作りの推進（庶務課・マネジメント）
○迅速な初期対応実践のための危機管理マニュアルの改善（児童生徒.保健）
○社会情勢に応じた感染症等への柔軟かつ迅速な対応の実施　（保健）

Ⅴ 知的・病弱教育部門における センター的機能の充実

○特別支援教育のセンター的機能充実のための組織的支援体制の整備（支援）
○病弱教育における相談機能の充実と広報活動の強化　（病弱）
○外部の専門家を活用した、医療・福祉・保健・行政機関等の関係諸機関との連携強化（マネジメント）

具体的方策

Ⅰ

①教育課程について検討方法の体系化と周知（教務・学部）
②教育効果や業務の効率化からみた行事の精選（教務・学部）
③年間指導計画の内容の整理を軸とした学部・チーム間の系統的な指導と個別最適な学びの充実（教務・研修）
④興味関心に基づいたＩCT活用と教材教具の工夫（学部・チーム）
⑤個別の実態やニーズに応じた指導内容や指導形態の工夫(学部・チーム)
⑥系統的なキャリア教育による学びの連続性とキャリアパスポートの見直し　（進路・教務）
⑦人権・同和教育基本方針と連動した人権教育と感性を育てる性に関する指導の充実（研修・保健）

Ⅱ

①チーム力向上のための研修とチームOJLの体制整備(人材・研修)
②教育課程実践交流会に向けて教務課と研修課が連携した学校研究の推進（教務・研修）
③学習の定着と学びの保障のためのICT機器等の工夫と活用に向けた研修の充実（研修・情報）
④外部専門家活用事業を積極的に活用した病気や障がい等に関する教職員の知識・理解を促す研修の充実（教務・保健）
⑤教職員の人権感覚を高めるための取組の充実（研修・学部・チーム）
⑥学習指導要領内容一覧表と年間指導計画の活用のための教科班別ミーティングの更なる充実（教務・研修）

Ⅲ

①マネジメント会議、運営委員会、学部主事等会、企画会、チーフ会の連動と情報共有による組織運営の一本化（マネジメント）
②教師の専門性や特性・能力を生かしたT・Tの充実　（学部・チーム）
③児童生徒の実態や支援の共通理解を図るための定期的な実態報告会の実施(児童生徒・チーム)
④オンラインを活用した他チームとのスクーリングの実施（学部・チーム）
⑤個別の教育支援計画等を基にした学部間、部門間、チーム間の連携強化　（学部・チーム）
⑥働き方改革推進のための超過勤務縮減に向けた取組と校務の情報化の充実（働き方改革推進委）

Ⅳ

①事務室と連携した環境の整備と効果的な予算の運用(全・事務)
②支持的風土づくりや主体的に活動できるための環境の整備（全・研修）
③県教育委員会の通知等（訪問教育はガイドライン）に沿った健康・安全に関する対策の周知と徹底（児童生徒・保健・チーム）
④いじめ等対応委員会を中心としたいじめの未然防止の取組と体制整備の充実（いじめ等対応委・児童生徒）
⑤個人情報漏洩及び視聴覚・情報機器の破損・紛失防止のための意識改革の取組と情報管理の強化　（情報）
⑥限られた施設・設備の中で安全・安心な学習環境づくりを推進するためのＰＴＡとの連携（庶務）

Ⅴ

①児童生徒支援のための保護者との計画的な話し合いによる連携強化と更なる信頼関係の構築（学部・チーム）
②病弱教育のセンター的機能の活性化を図るための家庭、学校、病院、関係機関等との更なる連携強化（病弱）
③外部機関等との連携につながる教育相談会等の行事や職員研修の企画運営（支援・児童生徒）
④巡回相談員の育成を目指した教育相談体制の整備（支援）
⑤学校の情報発信のためのHP等の改善と充実（教務・情報・進路）
⑥全病連福岡大会に向けた実行委員会による大会準備と運営（実行委員会）

関係者・関係諸機関（保護者・放課後等ディサービス・支援センター等地域）との連携